

# 龍谷顕真会会報

— も く じ —

|                               |       |
|-------------------------------|-------|
| 韓国視察参加者レポート .....             | 1～8   |
| 龍谷顕真会20年のあゆみ .....            | 9～10  |
| 平成7年度 会員活動報告 .....            | 11～14 |
| 平成7年度 総会報告、世話人会報告、会員の動静 ..... | 14    |

ことしの海外視察は台湾へ

10月24日～27日（3泊4日）



世界最後の東西冷戦地帯・板門店

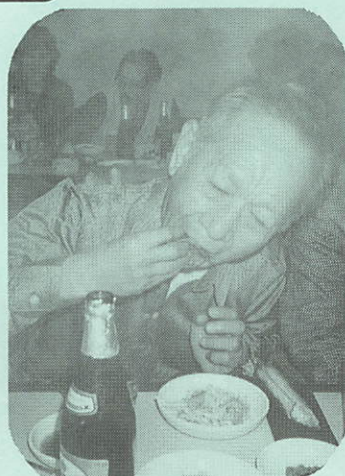


国会議事堂を視察

'94  
特集・韓国の旅



慶州の仏国寺に参拝



本場の焼肉「おお、こりゃうまいッ」

## 第2回海外視察レポート

特集 '94  
韓国の旅



龍谷顕真会の第二回海外視察を昨年十月二十四日から二十七日までの四日間実施いたしました。参加者は会員、寺族、門徒併せて第一回より二人多い十四人。訪問先は韓国のソウル、板門店、慶州。通常の観光旅行では訪問出来ない国会議事堂や南北朝鮮の緊張がひしひしと感じられる板門店、韓国最大の仏教宗派曹溪宗の総本山・曹溪寺の中にある韓国仏教宗協議会、日系婦人のための保護施設（老人ホーム）・慶州ナザレ園などの見学を行いました。ここで参加者のレポートを掲載し、視察報告とさせていただきます。

## 顕真会ならではの企画で

団長 藤谷 光 信

昨年に引き続き第二回の海外視察が実施されました。二年連続での実施のため、当初は参加者が少ないのではないかと心配いたしました。第一回より二人多い十四人の皆さんに参加いただき、大変嬉しく思っています。近くの韓国で三泊四日という手軽さが良かったのではないかと思います。

龍谷顕真会ならではの、通常の観光旅行では訪問出来ない施設の見学を、と考えております。今回は日韓議員連盟日本事務局の事務総長を通して韓国国会とソウル特別市議会への表敬訪問、また、全日本仏教会を通して曹

溪寺にある韓国仏教宗團の訪問、さらにWCRP日本委員会を通して慶州ナザレ園の訪問など、旅行社では手配が難しい場所と事前連絡を取り実施いたしました。残念ながら、ソウル聖水大橋の倒壊でソウル市長への訪問は実現出来ませんでしたが、それ以外は予定通り訪問出来ました。

私は県議会の都合で二日目から参加いたしました。韓国はもう数回訪問していますが、今回は今までと違った視察で、大変有意義なものでした。

これからも会員の皆様のご意見をお聞きし、事務局で海外視察の色々な企画がなされると思いますので、さらなるご参加をお待ちしています。

(山口県議)



ソウル最後の夜を韓式料亭で（左側）

## 混乱のなか、国会を見学

荒木 行也

今回の第二回龍谷顕真会の海外視察は韓国のソウル市と古都、慶州を視察することになり第一回ハワイに続き参加させていただきまし

た。10月24日、関西空港と福岡空港から出発し、ソウルに到着後、合流致しました。

出発前に新聞、テレビ等のニュースで21日午前7時45分ごろ、ソウル中心部の漢江に架かる聖水大橋の中心部分が長さ50mにわたって突然30m下の水面に落下し、通過中の路線バスや乗用車十数台が事故に巻きこまれ四十八人が死亡、二十三人が大けがをしたとのニュースが伝わって、ソウルに行けるのだろうか、と不安を感じておりましたが予定通り出発できました。視察予定の国会議事堂は緊急議会開催で無理だとの事であきらめておりましたが、韓日議員連盟、韓日親善協会中央会渉外室長の金詳培氏のご努力により、国会開催中であるけれども橋の事故の追求で「大統領をやめろ」「やめない」と予・野党がもめている為に空転しているので、今の内に議事堂を見学してよいとのことになり案内していただき中に入りました。

金さんのお話しによりますと20年前に現在地に移転したとの事で、国会議員が二九九名、



国会議事堂内部。中央には議長席しかない

日本での衆議院だけである事、大統領中心主義である事など、日本の国会と異なる点を説明していただきました。

日本の国会議事堂は議長席と、左右に大臣席がありますが、韓国国会は大臣も議員の席と同じであり、議長席だけが中央にあったの

が印象に残っています。

以前は議員の席に灰皿がおいてあったが、なげあたりするので今はおいていないとの事。また、議員の名札はおいてあるけれどもこれも投げるので取れない様に固定してある事等、日本では思いもつかないことがあるものだと変なところで感心したものでした。金さんには大変ユニークな話しをしていただき勉強になりました。

金さんの日本語が上手な事に感心いたしました。ソウルには韓国の人口の1/4の人が住んでいるし国内の1/4の車がソウルを走っているとのことでありました。

残念なことにソウル特別市議会は橋の事故の為に議会の都合でどうしても視察が出来ませんでした。

(福岡県高田町議)

## 曹溪寺(チョゲサ)参拝

梅津 正純

韓国国会議事堂の見学後、バスにて曹溪寺に向った。仏教関係(佛具屋を主とした)店舗が並んだ大通りで下車、時刻は午後三時三十分を過ぎていた。大通り(門前町)の入口より二十メートル奥に立派な本堂があり、右横は事務所の建物でその中に韓国仏教宗團協議会の事務所があった。



江州の仁王が来たゾ（曹溪寺で）

韓国仏教宗團協議会の朴亨鎮師が応対に來られ、快よく迎えて下さって感激した。先づ本堂に案内いただき中央の下陣に座り、絵像の御本尊に礼拝した。左下陣には女子青年の方々約三十人が、聖歌（讃歌）の練習をされていて賑やかであった。又、右下陣は四・五人の一般の参拝の方が顔を床に臥すように礼拝されていた。ここは、韓国最大の佛教宗派、大韓佛教曹溪宗の総本山で、風格ある大雄殿は一三九五年に創建されたものである、韓国の佛教徒は二割から三割未満で七割から八割までがキリスト教徒であり、寺院も都会では

殆ど見られず、地方の田舎に点在している。僧侶もこの辺では灰色の法衣（作務衣）を着た方を多く見るが、ここ以外では見かけない。次に本堂の裏の会館で、仏教関係の彫刻、書画の展覧会が開催されていて多くの鑑賞者が入っておられ私達も見学し、帰りに茶房（茶室）で棗茶をご馳走になり、厚くお礼を申し上げて寺を後にしたが、その頃は夕暮であって少し暗かった。

（滋賀県山東町議）

## 板門店にたたずんで

竺川 紹隆

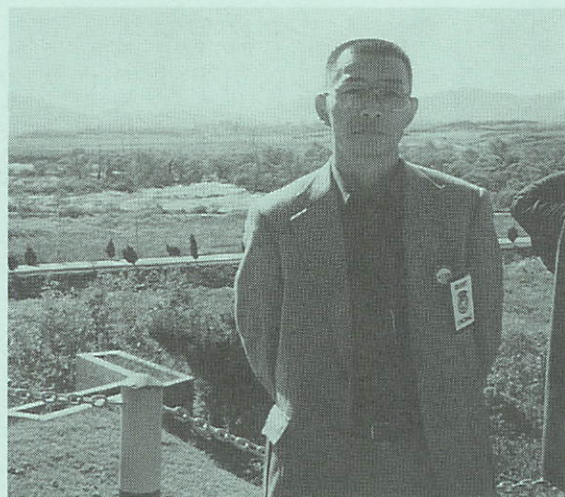
私は色々な機会があつて何度か外国を旅行することが出来た。しかし、今回のようにまさに一触即発の最前線を目のあたりにしたのは初めてである。

さまざまな歴史的経緯の結果、今日のあのような国境線が存在する。直接的には第二次大戦終了時における米ソ両大国による分断統治の結果とみえるが、私には必ずしもそればかりにはみえなかった。

今日でもなお、韓国の人たちが四百年昔の豊臣秀吉による朝鮮出兵について我々外国人に語ろうとする。また、日本の朝鮮統治の最高機関のあった朝鮮総督府の建物（現国立博物館）が本年解体撤去されることなど、あの冷たい三十八度線に日本の陰が重なってみえたのは私だけではなかったと思う。

近年わが国において過去の戦争について正しい認識をもつ機運が急速に高まっている。私のように直接戦争を知らない世代にとって真実は教育なり情報によってしか知り得ない。あのような緊迫の現場に身を置く時私は真実を知り得ているのが不安になった。

私の友人に南容喆（ナム・ヨンチョル）という人がある。島根県浜田市に在住する在日韓国人の二世である。彼の父親は韓国忠清南



韓国側から北朝鮮を望む(板門店で)作員と間違われそう！

道の出身であるが、彼自身四十六才になる今日まで一度も自分の国の土を踏んだことがない。日本で生まれ日本で育ちながら彼は朝鮮の言葉で話すことが出来、ハングル文字を解読できる。そして南北の統一を願い、民族の誇りを理解してほしいと言う。

原爆による戦争の後遺症が世代を越えてまで我が国には存在する。戦争は人間の愚かさのなす業であることは言をまたない。そしてその愚かさが落とした陰は決して消えることはない。愚かな業が恐ろしいエネルギーとなって展開されるとき、ときとして宗教が大きな

役割を果たした歴史は多い。国家や時代に埋没される賢愚であってはならない。

人は旅をするとき頃忘れていたことに逢うものだが、今回の旅は短時間ながら特にそう感じた旅だった。

(島根県金城町議)

## その名も高き仏国寺

山田真澄

結婚以来三十数年目にして始めて妻と旅行をした。その行先が韓国であり、グループは西本願寺龍谷顕真会海外視察団である。

私に与えられたテーマは「仏国寺」について。

これまでも古都慶州は書物で知った限り、新羅国の首都であり、古墳壘々として寺跡、石仏が広く存在する京都によく似た地とイメージしていた。

その中でも仏国寺は見学のハイライトと旅行案内書にあり大いに期待していた。

旅の三日目、ソウルよりバスにて高速道路を通り慶州へ。五〇km以上一〇〇km未満の道を一四〇〜一五〇kmの速度で追い越す車の多いこと。ソウル市内でも車の運転の乱暴さにあきれたが、恐ろしい程のスピードで走るのが。途中で数ヶ所、中央の分離帯のないところがある。聞けば、即飛行場となるとこの



慶州仏国寺の山門前で

とであった。前日にも感じたことであるが、改めて、南北朝鮮のきびしさを体感した。

さて、仏国寺ですが、正式には「吐含山仏国寺」と称し慶州東方の吐含山麓に位置し風景の好いところにあった。

入山しようとしてまず驚いたのは山門の屈強な男たちの姿であった。それはガードマンというのが適切な表現でしょう。境内はおなじみの修学旅行の生徒に満ちていました（勿論日本の高校生も）。歩を進めると中心の建物の前に着きました。第一印象は清水寺の石段の下から舞台を見上げた時の感じです。木造と石組みの違いはありましたが、左右それぞれ二橋づつ石段になって楼門いたる石造の入口は見事なものでした。楼門から巡らされた廻廊の中に前に、二基の石塔、つづいて金堂、後ろに講堂が建立されています。日本でも見た形式（あるいはこちらが原型か、仏教建築史にうといのでご教示をいただきたい）の寺院でした。建物はすべて新しく、基盤など石造物のみが、当初のものとのことでした。豊臣秀吉の侵攻を含め何度も戦乱に遇ったのが惜しめます。

名は高き仏国寺も、僧の姿なく、ただただ観光寺院としてのみ存在するのでしょうか。

（三重県東員町議）

## 涙あふれたナザレ園訪問

櫻井賢三

慶州市内から仏国寺への途中、ナザレ園があります。明治四十三年、日韓条約によって、強引に韓国を領有化し韓国人を意のままにし

た日本人。仏教も印度、中国、韓国、を経て日本に傳わって来ました。実によい関係の日韓五千年の歴史をたった三十六年間で損ねてしまい、韓国人が受けた、深い心の傷は、なかなか癒えるものではありません。この汚点



慶州・ナザレ園の入園者と懇談

の歴史は永遠に忘れ去ることは出来ません。

その民族感情の歪の犠牲となったのが、日韓の国を越えて結婚した人達です。日本の敗戦で韓国にとり残され、そのうえ、朝鮮戦争に巻き込まれ、主人、子供、息子、娘さんとも離ればなれになり、死亡、行方不明、反日感情の逆巻く社会で生きるすべを失った日本人妻達であります。その人達を大切に保護した尊い人がいます。日帝時代、父親はリンチにあい、殺されながらも、そのすべてを越えて、偉大なる愛に生きた人、金龍成師で、慶州ナザレ園理事長、創始者であります。昭和四十七年、今より二十二年前の十月、韓国社会事業の協力で創立され、民間事業として両国篤志家の支援で運営されています。その間、日本への帰国希望者、百四十人の永年帰国の便宜も図り、なほ帰国意志のない、孤独高齢者の生活保護をしています。国内に日系人が約八百人住んでいます。その中、困窮者、百世帯を選定し毎月在宅援助金を送金して励ましています。それが、老弱者が増える傾向にあり、これから先入園保護させる対象が、約二百人余り予想されているとのこと。ナザレ園の入園者と一緒に童話を歌いました。涙が流れ出るのを禁じ得ませんでした。懐しい子供の頃の歌をいつも望郷の想いにかかれて歌っているとの事でした。玄関に皆んな出て涙して、手を振り振り辛い別れを惜しみました。

この度の旅行は私にとって始めての外国旅行なので不安と希望が交互し複雑な気持ちでしたが、同行の人も親切で協力し合い一人の病人やケガ人もなく、皆んな元気で帰国出来た事を本当に嬉しく思います。ただここで不思議に思ふ事は、韓国には一軒のバチンコ屋も無い事、また、四千四百万人の人口がありながら、浄土真宗の寺が一カ寺も無い事です。これから我が教団も大いに検討すべき課題だと思いました。団長の藤谷さん副団長の荒木さん、添乗員の藤岡さん韓国のガイドさん、また、広報部の事務局の皆さん、本当に有難うございました。

(広島県湯来町議)

## 韓国の食文化を堪能

尾 前 新 了

晩秋を思わせる十月二十四日福岡空港より韓国のソウルに向う。一行十四人の旅。初めて見る韓国。なかには二回目三回目の人もいたが、初めてみるソウルの町はすばらしい。地震がないというこの国は思いきった高いビルを建てるので一見東京顔負けの街にみえた。「このような街なら、どんな豪華な食べ物があるだろうかな」とそれが楽しみだった。先づ第一回目の食事、夕食がきた。ごちそうはブ로그ギー焼肉料理。

### 内容のご紹介

一、鉄板で牛肉を焼く  
一、添食として※ゴマの葉※キムチ※モヤシ※大根のあえもの※ニンニク※レタスの葉以上を並べて、焼いた肉を一口分取ってレタスの葉に乗せて後は自分でたべたいキムチモヤシゴマの葉等を加え、スライスしたニンニク一枚をとり、辛いミソを少々つけて、レタスの葉に乗せて肉ごとクルリと手にまいてたべるのが要領だ。最初はとまどいもあるがくわしくおしえてくれるので日本の焼肉と同じこと。だが少しちがうのは必ず一切れの



「お父さん、食べすぎないでよ」と仲睦まじい尾前夫妻

肉をたべるのにレタス一枚たべること。これは日本でも奨励する必要があると思った。当地では成人病予防食といっていた。

二十五日の昼食は「ローストビーフ」という。これも焼肉食でライスのかわりにジャガイモのねったものが添えてあった。前段と同じ要領のたべかた。二十五日の夕食は「カルビー」の焼肉。二十六日慶州の昼食も焼肉で鉄板焼。どうにか夜になって海産物の寄せ鍋料理にありついた。久しぶりに磯の味を淡味したがホテルから三十分バスに乗って夕食をたべに行くのは少々腹へった感じ。韓国の食はどこも同じようで焼肉とキムチの思いが深く残った。辛いものを口にしたら今回の旅の友十四人の皆さんが鮮明に眠前に浮んでくるだろう。

(宮崎県椎葉前村議)

## ソウル大橋事故で頭まっ白

熊 谷 法 明

十月二十一日、私がいつも通りテレビを見ながら朝食を取っていると、ソウル聖水大橋が落下し多数の死傷者が出た、というニュースが流れてきた。しかし、対岸の火事。そのまま出勤し仕事についた。

昼過ぎ「大変な事態になりました。市長が解任され、首相の首もあぶない。市議会、国会は大混乱です」と日韓議員連盟日本事務局

の担当者が興奮して電話してきた。「ところで私たちの見学はどうなりますか」と尋ねると、「何を言っているんですか。もちろん、全て中止です」。そんなアホな！ 今までの苦労はどうなるのか。スケジュールの変更は効くのだろうか。「頭の中が真っ白」とはこういう状態を指すのであろう。前途多難、えらい時に担当者になった。これが正直な気持ちであった……。「ええい、まだ、韓国仏教宗團協議会もある。ナザレ園もある。板門店もある。第一日は出たとこ勝負だ」と開き直ったふりをして空港へと向かったのです。

ところが、ソウル到着後はラッキーなことばかり。諦めながら連絡した韓日議員連盟からは親日派の渉外室長が来られ、ソウル市長との面会こそ出来なかったものの、空転の合間を縫い、国会議事堂の案内や、韓国の政治情勢、日韓の国会運営の相違点など1時間に渡り詳しく説明していただいた。また、曹溪寺の入り口で、一ヵ月程前に京都の知恩院で会った韓国仏教宗團の事務局長に偶然にも出会い、寺院の案内はもとより、お茶の接待までしていただいた。ナザレ園でも理事長をはじめ、入園者の思いもよらぬ盛大な歓迎を受け、スケジュールも予定通り。案ずるより産むがやすし、とはまさにこのことでしょう。

一行のバスが接触事故に巻き込まれたり、駐車違反で足止めをくったりしたことも、今で

は楽しい思い出のひとつ。

団員はもとより、韓国旅行社の添乗員も初めてという場所ばかりを訪問・見学でき、通常の団体旅行では体験できない、大変有意義な視察となりました。帰って来て思いました。「担当者でよかった」。

(事務局・広報部賛事)



カラオケで添乗役のうっぶん晴し（出発前の心配もどこへやら）

## 海外視察日程

|               |                        |                                           |               |              |                                   |
|---------------|------------------------|-------------------------------------------|---------------|--------------|-----------------------------------|
| 10月24日<br>(月) | 関西空港発<br>福岡空港発<br>ソウル着 | 空路ソウルへ<br>国会議事堂・曹溪寺・<br>韓国仏教宗團協議会<br>表敬訪問 | 10月26日<br>(水) | ソウル発<br>慶州着  | バスにて慶州へ<br>仏国寺・新羅宮・<br>ナザレ園訪問・博物館 |
| 10月25日<br>(火) | 板門店                    | バスにて板門店へ<br>板門店見学                         | 10月27日<br>(木) | 慶州発<br>釜山着・発 | バスにて釜山へ<br>空路、関西空港・<br>福岡空港へ      |

# 龍谷頭真会20年のあゆみ

## ○発会式（昭和49年4月25日）

△会員数▽76人 △発会式出席人数▽49人  
△内 容▽前門さまから「龍谷頭真会」と  
ご命名頂く。規約等を決める。

## ○第2回（昭和50年度）

△会員数▽73人 △総 会▽7月29日  
△出席人数▽37人

## ○第3回（昭和51年度）

△会員数▽72人 △総 会▽4月27・28日  
△出席人数▽28人 △基調講演▽「宗門が  
どのように政治にかかわるべきか」福井県  
丸岡町長・朝日岳乗 「龍谷頭真会」と門  
徒の地方自治体議員・首長との提携」北海  
道木古内町議・多田勝

## ○第4回（昭和52年度）

△会員数▽68人 △総 会▽5月13・14日  
△出席人数▽不明 △基調講演▽「教団史  
における政治とのかかわり」龍谷大学名誉  
教授・宮崎円遊

## ○第5回（昭和53年度）

△会員数▽62人 △総 会▽5月9・10日  
△出席人数▽23人 △記念講演▽「豊か  
な日本の政治的課題」京都大学教授・高坂

## 正堯

## ○第6回（昭和54年度）

△会員数▽62人 △総 会▽5月30・31日  
△出席人数▽28人 △記念講演▽「宗教  
と政治」龍谷大学教授・佐藤三千雄

## ○第7回（昭和55年度）

△会員数▽不明 △総 会▽6月5・6日  
△出席人数▽24人 △記念講演▽「宗教  
と政治」毎日新聞編集委員・内藤国夫 ◎  
6月5日規約を一部改定（賛助会員△会員  
OBV制度を設置）

## ○第8回（昭和56年度）

△会員数▽44人 △総 会▽6月5・6日  
△出席人数▽30人 △記念講演▽「現代  
の社会問題について」京都府知事・林田悠  
紀夫

## ○第9回（昭和57年度）

△会員数▽58人 △総 会▽5月26日  
△出席人数▽29人  
△記念講演▽「エネルギー行政と自治体」  
敦賀市長・高木孝一

## ○第10回（昭和58年度）

△会員数▽56人 △総 会▽5月27日

△出席人数▽25人 △記念講演▽「宗教と  
政治」京都大学教授・矢野 暢 ◎5月27  
日、設立10周年記念・祝賀会を開催。

## ○第11回（昭和59年度）

△会員数▽47人 △総 会▽5月25日  
△出席人数▽31人 △記念講演▽「宗教と  
政治」参議院議員・杉山令肇

## ○第12回（昭和60年度）

△会員数▽47人 △総 会▽5月31日  
△出席人数▽31人 △体験発表▽

## ○第13回（昭和61年度）

△会員数▽45人 △総 会▽5月30日  
△出席人数▽31人 △記念講演▽「国際化  
時代における宗教について考える」龍谷大  
学教授・口羽益生

## ○第14回（昭和62年度）

△会員数▽43人 △総 会▽5月27日  
△出席人数▽25人 △記念講演▽「変革期  
の政治と経済」京都大学教授・高坂正堯

## ○第15回（昭和63年度）

△会員数▽37人 △総 会▽5月27日  
△出席人数▽15人 △記念講演▽「宗門の  
現況と展望」本願寺派総合企画室長・白鳥  
幸雄

## ○第16回（平成元年度）

△会員数▽46人 △総 会▽5月26日  
△出席人数▽18人 △記念講演▽「ふるさ  
とをどうするか」朝日新聞論説委員・水江

信雄 ◎5月25日、東急ホテルで結成15周年祝賀会を開催。

○第17回(平成2年度)

△会員数V45人 △総 会V5月24日

△出席人数V18人 △記念講演V「科学技術の進歩と地方行政」岡山理科大学教授・浄原法蔵 ◎この年から総会の前夜に懇親会をもつようになった。

○第18回(平成3年度)

△会員数V48人 △総 会V6月5日

△出席人数V19人 △記念講演V「実説・坊さんのいる風景」関西女子美術短大教授・太田信隆 ◎6月5日規約を一部改定(賛助会員制度を廃止)。会員は現職の首長・議員のみとすることを決議。

○第19回(平成4年度)

△会員数V47人 △総 会V5月26日

△出席人数V15人 △記念講演V「『新新宗教』とはなにか―宗教状況とその意味するもの―」毎日新聞大阪本社編集委員・横山真佳

○第20回(平成5年度)

△会員数V47人 △総 会V5月26日

△出席人数V13人 △記念講演V「はざまを生きる―市町村時代の幕開けを迎えて―」龍谷大学教授・志水宏行 ◎第1回海外(ハワイ)視察(10月18日)23日Vを実施。

○第21回(平成6年度)



前門さまと内事部玄関で

△会員数V46人 △総 会V5月26日  
△記念講演V「いま社会学からの提言―宗門が社会の変化からとり残されないために―」龍谷大学社会学部講師・新田光子  
◎5月25日東急ホテルで結成20周年祝賀会を開催 26日前門様と記念撮影お言葉を頂戴する。

○第22回(平成7年度)

△会員数V41人 △総 会V5月25日

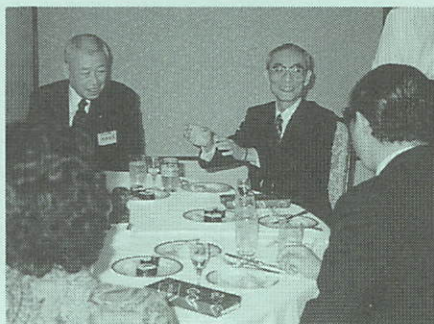
△出席人数V16人 △記念講演V「蓮如上人とイノベーション」蓮如上人五〇〇回遠忌中央法要事務所トータルプロデューサー・本多隆朗

## 結成20周年

平成6年5月25・26日 結成20周年記念行事が行なわれた



松村総長あいさつ



なごやかに祝賀会

# 平成七年度 会員活動報告

会員41人のうち、28人から活動報告書の提出がありました。なお、首長は①欄が空白になります。(5月25日現在)

- ① 所属委員会
- ② 本年度取り組んでいる事柄
- ③ 今後取り組みたい課題
- ④ 抱負・モットーなど

## 楯 大亮

北海道 南富良野町長 6期  
北海道・上川南・玄正寺住職

- ① オートキャンプ場
- ② 観光開発
- ③
- ④

## 柴田 薫心

北海道 札幌市議 5期  
北海道・札幌・宝流寺住職

- ① 議長
- ② 調整区域から市街化区域への変入促進
- ③ 全天候型スタジアムの建設

- ④ ◇札幌市の顔として行動したい

◇念仏同朋として初心を忘れずに進みたい

## 花木 肇正

富山県 大島町議 5期  
高岡・射水・称念寺住職

- ① 総務常任委員会
- ② ◇高齢者対策 ◇在宅福祉と施設の充実
- ③ 観光開発
- ④ 夢ある町・快適・さわやかな町づくり

## 嶋田 政憲

福井県 勝山市議 3期  
福井・福井・本覚寺衆徒

- ① 産業経済委員会
- ② ◇議会の活性化と市民に密着した議会
- ③ ◇中部縦貫道路の促進
- ④ ◇若い人たちが定住できる町づくり

## 中田 宗人

岐阜県 明宝村議 5期  
岐阜・郡上・円光寺住職

- ① 総務文教常任委員会・観光開発特別委員

会

- ② 通年型観光立村の形式
- ③ 21世紀に向け活力と潤いのあるふるさとづくりを進めたい。また、高齢化社会に対応する福祉事業や心の豊かさを求める時代の創成に努力したい

- ④ 誠実

## 横山 善道

岐阜県 伊自良村 1期  
岐阜・黒野・金證寺住職

- ① 村民の声を議会に反映させる
- ② 社会福祉
- ③ 村民との対話を重点に
- ④

## 山田 真澄

三重県 東員町議 9期  
東海・員弁・浄源寺住職

- ① 経済土木常任委員会
- ② ◇下水道工事の促進 ◇溜池等の公園化
- ③
- ④

## 北川 真道

滋賀県 秦荘町長 3期

- ① ◇福祉の充実 ◇教育文化の振興
- ②
- ③
- ④

堅田 昭磨

滋賀県 高島町議 2期

滋賀・高島・慈敬寺住職

①

健全な子供を育てる目的で取りかかった

子供の森事業が完了

③ 先の事業の充実・整備

④ 対話を大切に、多くの人と語りたい

黒田 昭信

滋賀県議 2期

滋賀・犬上南・教得寺住職

① 生活環境・健康福祉・行政改革

② びわこ総合開発事業について

③ 県民すべてに公平を旨とする

④ 福祉施策の見直し

梅津 正純

滋賀県 山東町議 1期

滋賀・山東・宝安寺住職

① 総務文教委員会

② 地元小学校改築（山東西小学校）来春

3月竣工

◇地域づくり事業（グリーンパーク山東）

完成により、施設の管理運営について

③ 老人福祉について

◇老人福祉対策 ◇保健センター建設

◇ゴミ対策

④ 環境を整備し、住みよい町づくり、地域

づくり

西殿 香連

和歌山市議 10期

和歌山・和歌山・西正寺住職

① 未定

②

③

④

永原 智徳

和歌山県 由良町議 3期

和歌山・日高・教専寺住職

① 厚生文教委員会

② 環境衛生・下水問題

③ 公害問題

④

谷川 正秀

兵庫県 尼崎市議 2期

兵庫・阪神西・万徳寺住職

① 建設委員会

② 阪神大震災復興

③ 若者に魅力あるまちづくり

④ ◇きらきらどきどき尼崎 ◇愛の市政

竺川 紹隆

島根県 金城町議 3期

山陰・福屋・浄光寺住職

① 経済常任委員会

② 少子化対策

③ 政教の問題

④

藤谷 一剣

島根県 匹見町議 2期

山陰・益田・蓮長寺住職

① 総務委員長

② 過疎からの脱却、若者定住

③

④

櫻井 賢三

広島県 湯来町議 2期

安芸・佐伯奥・正向寺住職

① 建設経済委員会

② 多目的運動広場・社会福祉センター建設

③ 道路網の整備

④ 社会福祉の充実、あらゆる場所で精神的

浄土真宗の教義の伝道

藤谷 光信

山口県議 2期

山口・岩国・教蓮寺住職

① 厚生委員会

② 福祉

③ 福祉

④

熊谷 宗圓

山口県 岩国市議 2期

山口・岩国・西福寺住職

①

②

③

④

桑原 孝顕

山口県 田布施町議 7期  
山口・熊毛中・龍巖寺衆徒

④ 真実を旨として

基本構想の策定

① 総務委員会

② 情熱溢れる教育の町づくり

③ ◇福祉の充実した町づくり

◇生活環境の整った町づくり

④ 公正公平

久保 玄爾

山口県 防府市議 4期  
山口・防府・信行寺住職

① 総務委員会

② 新ゴールドプラン・環境問題（産業廃棄物、河川浄化）

③ 高齢化社会とエンゼルプラン

④

秋里 勝道

山口県 美東町議 4期  
山口・美祢東・明楽寺住職

① 総務委員会

② 道の駅・コミュニティマート・親水公園

③

④

川越 証真

山口県 美祢市議 7期  
山口・美祢西・西音寺住職

① 総務企業委員会

② 産業地振興

③ 住宅団地建設、市営住宅建設

④ 利行

大分県 宇佐市 2期  
大分・宇佐・極楽寺住職

① 文教社会委員会

② ◇教育予算増額 ◇文化財の保護

③ 先に同じ

④

衛藤 龍天

大分県 久住町長 4期  
大分・岡・安照寺住職

①

② ◇地球にやさしい環境・むら構想の推進

◇農業担い手育成、中山間地域基盤整備

◇（別府くじゅうリゾート開発計画、ゴルフ場着工）

③ ◇グリーンツーリズム ◇自然の学校

◇農林集落排水 ◇庁舎建築

④ 町民が求める目先の事業より、住民にとってもっと大事な事業がある。それを知って

もらって実行すること

荒木 月秋

佐賀県議 3期  
佐賀・松浦・尊光寺住職

① 産業常任委員会、吉野ヶ里文化財等特別委員会

②

◇西九州自動車・伊万里自動車道と伊万里湾新都市構想に向けての基本理念と

◇県立ガンセンターに緩和ケア病棟（ホスピス）の併設

◇中山間地域農業農村の活力と活性化と就農者対策

衣食住にかかわる農村・水産・商工業の在り方。特に地方化時代に対応できる受皿づくり。中でも保健、医療、福祉の高

齢化に伴う人材、財源の確保。その解決のための教育の共通理念の確立。

④ 子供等に未来を、若人に夢を、働くものに誇りを、高齢者にやすらぎを

前原 弾郎

熊本県 深田村長 5期  
熊本・球磨・善正寺住職

①

② 下水道整備（初年度）、簡易水道（3年目）、中山間地域農村活性化事業

③ 公民館活動、健康づくり、子育て環境づくり

④

隈部 弘正

熊本県 菊鹿町長 1期  
熊本・山鹿・光厳寺住職

①

② 福祉・教育・文化の充実、農業集落排水事業、公園整備事業、体育館建設、町営

住宅建設、特産工芸村建設完成、etc  
福祉センター、文化会館、武道館の建設

③ (活き活き、伸び伸び菊鹿づくり…心豊かな町づくり…)

④ 公正公平、対話のある思いやりの行政を

## 平成七年度 総会報告

一、日時 5月25日(木)

午前9時30分から午後1時まで

二、場所 宗務総合庁舎3階大会議室・和室

三、開会式 ○勤行・讃仏偈 ○総務挨拶

○代表世話人挨拶

四、総会 ①議長選出・挨拶 藤谷光信

②平成6年度事業・決算報告

③第2回海外視察実施報告

④平成7年度事業・予算案

⑤第3回海外視察計画について  
10月下旬、3泊4日の日程で  
台湾視察を実施

⑥世話人の選出

山田真澄 (三重県東員町議)

黒田昭信 (滋賀県議)

永原智徳 (和歌山県由良町議)

竺川紹隆 (島根県金城町議)

藤谷光信 (山口県議)

荒木行也 (福岡県高田町議)

前原弾郎 (熊本県深田村長)

⑦代表世話人の選出

川越証真 (山口県美祢市議)

⑧会計監査員選出

柴田薫心 (札幌市議)

花木肇正 (富山県大島町議)

以上

## 平成七年度

### 世話人会報告(第一回)

一、日時 5月24日(水)

午後3時から4時30分まで

二、場所 宗務総合庁舎3階会議室4

三、内容 ①平成6年度事業・決算報告

②第2回海外視察実施報告

③平成7年度事業・予算案

④総会の運営について

⑤第3回海外視察計画について

⑥世話人、代表世話人、会計監

査員の改選について

以上

## 会員の動静

(新入会員)

横山善道 (岐阜県伊自良村議)

岐阜・黒野・金證寺住職

熊谷宗圓 (山口県岩国市議)

山口・岩国・西福寺住職

(退会会員)

中村幸教 (石川県議)

石川・島崎山・光徳寺衆徒

安藤智純 (三重県尾鷲市議)

東海・員弁・浄源寺住職

的場利健 (島根県江津市議)

山陰・江津・西谷寺住職

松元顕正 (島根県仁摩町議)

山陰・仁摩・松源寺住職

大前勝乗 (香川県坂出市議)

四州・飯山北・善光寺住職

佐々木一法 (熊本県五和町議)

熊本・天草下・西明寺住職

尾前新了 (宮崎県椎葉村議)

宮崎・椎葉・浄行寺住職